

土壤病害虫
防除の
強い味方!



医薬用外劇物

農林水産省登録
第5250号

有効成分：
クロルピクリン…80.0%
[PTRR・1種]

ドロクロールは日本農薬(株)の登録商標です。

■適用作物、病害虫、雑草及び使用方法

作物名	適用病害虫・雑草名	1穴当りの 使用量(ml)	作物名	適用病害虫・雑草名	1穴当りの 使用量(ml)
あぶらな科野菜 (キャベツ、 こまつなを除く)	萎黄病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3	ばれいしょ	そうか病 青枯病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	〈圃場〉3 〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3
キャベツ*4			ねぎ*5		
こまつな*			あさつき*4 わけぎ*4	白絹病、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3
だいこん	亀裂褐変症				
はくさい	黄化病、軟腐病、根くびれ病		たまねぎ	苗立枯病、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3
レタス 非結球レタス (サラダ菜を除く)	ビッグベイン病	〈圃場〉3	にんにく	イモグサレセンチュウ、一年生雑草	〈圃場〉3
サラダ菜*4	根腐病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3	薬用にんじん	根腐病、一年生雑草	
くちしや		〈圃場〉2~3	こんにやく	乾腐病、白絹病、根腐病、センチュウ類、 ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草	〈床土・堆肥〉 3~6 〈圃場〉 2~3
ほうれんそう*	萎凋病、立枯病、苗立枯病、 ホウレンソウケナガコナダニ、センチュウ類、 ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草		豆類(種実、ただし、 いんげんまめを除く)		
うり科野菜 (すいか、きゅうり、 メロン、にがうり、 うり類(漬物用) を除く)	つる割病、白絹病、センチュウ類、 ハリガネムシ類、ネキリムシ類、 一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3	いんげんまめ*		
漬物用メロン*2			豆類(未成熟、ただし、 さやいんげん、 未成熟そらまめ、 さやえんどう、 実えんどうを除く)	立枯病、白絹病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	
にがうり*			さやいんげん*5 未成熟そらまめ*4		
うり類(漬物用、 ただし、 漬物用メロンを 除く)*3	疫病、つる割病、白絹病、苗立枯病、 センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草		さやえんどう* 実えんどう*		
きゅうり*5			てんさい	黒根病、苗立枯病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	
メロン*4	つる割病、白絹病、黒点根腐病、 センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3	あま・麦類	立枯病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	
かぼちゃ (かぼちゃ台を含む)	フザリウム立枯病	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉3~4	とうもろこし	白絹病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	
すいか*5	つる割病、白絹病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3	陸 稲	センチュウ類、ハリガネムシ類、ネキリムシ類、 一年生雑草	
	ホモブシス根腐病	〈圃場〉3	葉しょうが*	根茎腐敗病、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3 〈圃場〉2~3
ピーマン*5 とうがらし類*5	萎凋病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草		ふ き ふき(ふきのとう)	半身萎凋病	〈圃場〉3
トマト*5 ミニトマト*5	青枯病・萎凋病、半身萎凋病、センチュウ類、 ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3	やまのいも (むかご)	褐色腐敗病、根腐病、センチュウ類、 ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3 〈圃場〉2~3
なす*	青枯病、半身萎凋病、センチュウ類、 ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草			らっきょう	白絹病
いちご*5	萎黄病、炭疽病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草		みつば	立枯病	〈圃場〉2~3
アスパラガス*	立枯病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草		花き類・ 観葉植物*5	青枯病、半身萎凋病、萎凋病(フザリウム菌)、 萎黄病(フザリウム菌)、株枯病(フザリウム菌)、 乾腐病(フザリウム菌)、球根腐敗病(フザリウム菌)、 立枯病(フザリウム菌)、葉枯病(フザリウム菌)、 腐敗病(フザリウム菌)、センチュウ類、 ハリガネムシ類・ネキリムシ類・一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3
せり科葉菜類 (セルリーを除く)	立枯病(パセリ)、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	〈圃場〉2~3	き く*5	白絹病、立枯病	
セルリー*5	萎黄病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3	カーネーション*5	立枯病	
しょうが*	根茎腐敗病、一年生雑草		りんどう*5	褐色根腐病	
う ど	萎凋病、一年生雑草		ストック*5	苗立枯病	
にんじん	センチュウ類、ハリガネムシ類、ネキリムシ類、 一年生雑草		デルフィニウム*5	立枯病	
ごぼう*	黒あざ病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3	スターチス*5 ゆり*5	萎凋細菌病	
かんしょ	立枯病、つる割病、紋羽病、センチュウ類、 ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草		ほおすき*5	軟腐病	
さといも	疫病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草		トルコギキョウ*5	株腐病、苗立枯病	
やまのいも	褐色腐敗病、根腐病、センチュウ類、 ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草		いちじく(苗木)	白絹病、センチュウ類	
			りんご・桑	紋羽病	6~12
			たばこ	白絹病、立枯病、センチュウ類、ハリガネムシ類、 ネキリムシ類、一年生雑草	〈床土・堆肥〉3~6 〈圃場〉2~3

無印…本剤の使用回数:1回、クロルピクリンを含む農薬の総使用回数:1回

*…本剤の使用回数:1回、クロルピクリンを含む農薬の総使用回数:2回以内(床土1回以内)

*2…本剤の使用回数:1回、クロルピクリンを含む農薬の総使用回数:2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)

*3…本剤の使用回数:1回、クロルピクリンを含む農薬の総使用回数:3回以内(床土1回以内、圃場2回以内)

*4…本剤の使用回数:2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)、クロルピクリンを含む農薬の総使用回数:2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)

*5…本剤の使用回数:2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)、クロルピクリンを含む農薬の総使用回数:3回以内(床土1回以内、圃場2回以内)

- ① 土壌中の病原菌、害虫、線虫、雑草類を防ぎます。
- ② 連作障害を防ぎます。
- ③ 土壌中でガス化し拡散します。
- ④ 各種の野菜、花き、果樹等に幅広く使用できます。
- ⑤ 臭化メチルの代替剤として使えます。

⚠ 使用上の注意事項(抜粋)

- (1) 温度が低いと本剤のガス化が悪く、十分な効果が得られないこともあるので、なるべく地温が7℃以上の時使用する。
- (2) 液漏れ、液だれがなく正確に注入量を調節できる土壌消毒機(必ず使用前点検)を使用する。
床土・堆肥に処理する場合、床土・堆肥を30cmの高さに積み、30×30cmごとの深さ約15cmの位置に所定量を注入し、直ちに覆土する。更に30cmの高さに積み上げ、これをくり返し、**最後にポリエチレン、ビニール等で必ず被覆し7日以上おく。**
圃場に処理する場合、耕起、整地後、全面処理の場合は30×30cmごとの深さ約15cmの位置に所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で必ず被覆する。播種溝処理、植穴処理、うね処理の場合も全面処理に準じて処理する。処理後**10日以上経過してから播種または移植する。**
りんご、桑に使用する場合、病株、病根等を除去した後、約60cmの深さに耕起、整地し、全面処理の場合は、30×30cmごとの深さ30~40cmの位置に**所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で必ず被覆する。**処理後**20日以上経過してから植付ける。**植穴処理の場合も全面処理に準じて処理する。
- (3) ガスが土中で十分拡散するよう耕起、砕土を十分に行い、丁寧に整地してから処理する。耕起後しばらくたって土壌がおちついてから処理する。また、土中でのガスの拡散は**土の湿り気のある時、すなわち土を握って放すと割れ目ができる程度の時に注入するのが最適。**注入部位を直ちに覆土し、地表面をポリエチレン、ビニール等で必ず被覆する。
- (4) **地温が15℃以上の時は処理後10日位、また、地温が低い時は処理後20~30日経過するとガスは大体抜けるが、念のため数力所でくわを入れ、土質、気温等により、なお眼にしみるような臭気が残っている時は、よく切り返し、完全にガス抜きを行ってから、播種あるいは移植する。**うり類は本剤のガスに弱いので、**ガス抜きは特にていねいに行う。**
- (5) 本剤でくん蒸した本圃に豆科植物を栽培するときは、根りゅう菌が死滅しているおそれがあるので、根りゅう菌を接種して、播種する。
- (6) 作物の生育中は**葉害を生ずるので使用しない。**隣接地に生育中の作物がある場合は、**揮散ガスによる葉害に注意する。**特に、**生育中の作物があるハウス内では使用しない。**
- (7) **りんご、桑等の跡地消毒の場合、隣接株より50cm以上離して処理する。**また、ガスの抜けを確認してから植付ける。
- (8) ミツバチの巣箱周辺での使用はさける。
- (9) 消石灰などの**アルカリ性肥料**の施用直後に本剤を処理すると作物に有害な物質を作り、葉害の発生するおそれがある。このような肥料は**ガス抜き後に施用するか、または本剤処理の10日以上前に施用する。**
- (10) **他剤と混用しない。**特にカーバム剤およびカーバムナトリウム剤とは化学反応により、発熱し危険。カーバム剤及びカーバムナトリウム剤使用後の散布器具等とはよく洗浄してから用いる。
- (11) 金属腐食性があるので、使用後の注入器具その他は灯油でよく洗う。
- (12) 葉液の入っている製品缶に水が混入すると缶が腐食するおそれがあるので、**製品缶には水を入れない(開封後は空気による水分の持込みに注意)。**
- (13) **土壌消毒機の薬液タンク(ポリタンク等)に移した薬液は水分を含んでいる可能性があり、製品缶を腐食するおそれがあるので、残存薬液は製品缶に戻さず使い切る。**
- (14) 処理後の放置期間と効果・葉害との関係は、土壌の種類、腐植土の多少、温度、土壌水分、作物の種類によって様ではない。本剤の使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意。**特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。**

⚠ 人畜に有毒な農薬についてはその旨及び解毒方法

- (1) **医薬用外劇物**。取扱いに十分注意。飲み込んだ場合は吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。窒息性有毒ガスを発生するので、揮散したガスを吸い込まないように注意。使用中に身体に異常を感じた場合は、通風の良好な場所で顔を横に向け、体を暖めながら直ちに医師の手当を受ける。場合によっては、酸素吸入又は人工呼吸(マウス・ツース・マウスは絶対に行わない)を行い、強心剤等を投与する。
- (2) 催涙性の刺激を有し、眼、のど、鼻を刺激するので注意。ガスが眼に入りひどく痛む時は、多量の水でよく洗い速やかに眼科医の手当を受ける。
- (3) 皮膚に強い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落とす。
- (4) 作業時は**活性炭(活性炭入り)付き防護マスク、保護眼鏡、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用する。**ガス抜き作業も同様の防護マスク、保護眼鏡を着用する。作業の際はガスを吸い込まないように風向き等を十分考慮する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがい、洗眼をする。
- (5) 衣服等に付いた場合には、脱衣して他のものと分けよく洗濯し、臭気が抜けるまで身につけない。
- (6) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意。
- (7) 作業中及びくん蒸中の圃場へ小児等作業に関係のないものや家畜、家禽が立ち入らないよう十分注意。
- (8) 揮散ガスによる危被害防止のため、処理は朝夕の気温の低い時間帯に行う。**処理後直ちにポリエチレン、ビニール等で被覆する。**
- (9) 住宅、畜舎、鶏舎周辺では、以下の事項に留意し、ガスによる危被害発生防止に十分配慮する。
 - ① 高温期の処理を避け、**気温の低い季節に処理する。**
 - ② **住宅、畜舎、鶏舎が風下になる場合、処理をしない。**
 - ③ **被覆資材は0.03mm以上を使用する。**
 - ④ **風の強さや向きが変わり、危被害を及ぼす恐れがある場合は、ガス抜き作業を中断する。**
- (10) ビニールハウス等の**施設内で使用する場合**、出入口、天窓、側窓等を開け通気をよくして作業する。**作業後直ちに被覆した上で施設を密閉し、臭気が残る期間はハウス内へ入らない。**くん蒸後はハウスを開放し、十分換気した後に入室する。
- (11) 注入処理と同時に被覆する機能を備えた土壌消毒機を使用することが望ましい。

⚠ 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物(魚類、甲殻類、藻類)に強い影響を及ぼすので、河川、湖沼、海域及び養殖池に本剤が飛散、流入する恐れのある場所では使用しない。
- (2) 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は、河川等に流さない。空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

⚠ 引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

本剤は皮膚に対して強い刺激性がある。

⚠ 貯蔵上の注意事項

直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管する。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。